ハツ場ダム問題と全国のダム問題

「八ッ場あしたの会」総会 2023年2月4日(土)

- I これからのハツ場ダムで危惧されること
- Ⅱ 利根川の治水対策として、ハツ場ダムは意味があるのか。 むしろ、有害な存在になるのではないか。
- Ⅲ 水道等の需要が一層縮小していく時代においてハツ場ダムは利水面でも無用の存在である。
- IV ダム問題の経過
- V 国交省の「流域治水の推進」(2021年度から)のまやかし

I これからのハツ場ダムで危惧されること

1 吾妻渓谷の変貌

ハツ場ダムの建設地は国の名勝に指定され、大勢の観光客が訪れてきた吾妻峡にあります。吾妻渓谷の上流側1/4はダム工事で壊されてしまって、下流側3/4が残りましたが、これから、その様相は大きく変わっていくに違いありません。吾妻渓谷の魅力は奇岩怪岩が続く、その岩肌の美しさにあり、それは時折襲う土砂まじりの洪水が岩肌の表面を洗い流すことで維持されていました。

しかし、ハツ場ダムによって洪水が貯留されるようになると、岩肌を洗う機会が激減し、やがて岩の表面をコケが覆い、さらに草木が生い茂って、残された吾妻渓谷も様相が大きく変わってしまうでしょう。

2 ハツ場ダム湖の浮遊性藻類の増殖による水質悪化

八ツ場ダムは吾妻川の中流部に位置しているので、上流域から多量の栄養塩類(窒素とリン)が流れ込んでいます。上流域には約2万人が住み、草津温泉、等に大勢の客が訪れます。更に、嬬恋のキャベツ畑には多量の化学肥料が投入され、四町村で数千頭の牛が飼育されています。これらの生活排水、農業排水、畜産排水等により、吾妻川には多量の汚濁物、栄養塩類が流入しています。この汚濁物の量を人口に換算すると、ダム上流には数十万人の都市があるに等しい状況です。そのように栄養塩類の濃度がかなり高いところに、八ツ場ダムで流水をたまり水に変えたことにより、浮遊性藻類の異常増殖が進行することが予想され、八ツ場ダム湖は浮遊性藻類の異常増殖で水質がひどく悪化していくことになるでしょう。

3 夏期には貯水位が大きく下がり、観光地としての魅力が乏しくなるハツ場ダム湖

ハツ場ダムは夏期(7月~10月5日)の洪水期には洪水があっても貯留できるように貯水位を満水位から28メートルも下げます。渇水が来て、下流への補給を行う場合は、最大で満水位から47メートルも下げます。

写真1はダム計画時の国交省の委託先が描いたフォトモンタージュで、打越 代替地から見た八ツ場ダム湖のイメージが示されています。きれいな水を満々 とたたえたダム湖になっています。

写真2は2022年7月のハツ場ダム貯水池の湖岸です。湖岸の岩肌が28メートル以上も剥き出しになっていて、そこには美しいダム湖の姿は見られません。

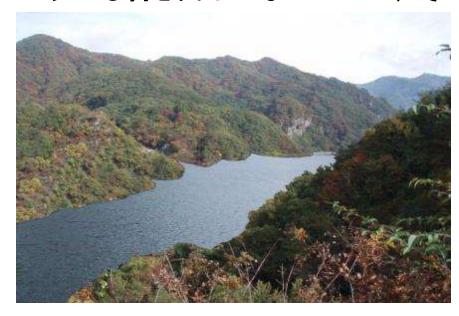


写真 1 国交省のフォトモンタージュ (打越代替地から見た八ツ場ダム湖)

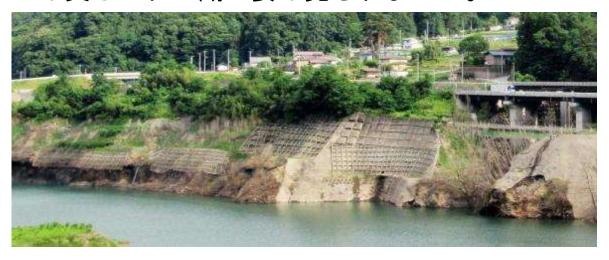


写真 2 2022年7月の八ツ場ダム貯水池の 横壁地区の岸壁(湖岸の岩肌が28m以上 も剥き出し) (撮影 渡辺洋子)

4 八ツ場ダムは堆砂が急速に進行し、長野原町中心部で氾 濫の危険性をつくり出す。

八ツ場ダムは堆砂が急速に進んできています。八ツ場ダムの試験湛水が開始された2019年10月に台風19号が利根川流域を襲いました。その時の大豪雨により、八ツ場ダム上流域の各所で土砂災害が発生し、貯水池に大量の土砂が一挙に流れ込みました。2020年度になってからも貯水池に集水域から土砂が流入し続け、2020年11月の堆砂量は274万㎡にもなりました。

八ツ場ダムは貯水池底部に堆砂容量1750万㎡(100年分)が確保されていて、 計画堆砂量は年平均で17.5万㎡ですから、その約16倍にもなる堆砂量です。

<u>堆砂進行の問題はダム湖の寿命を短くしていく問題にとどまりません。流入土砂は貯水池上流側の浅い方にも堆積するため、ダム湖に流入する吾妻川・白砂川の河床を上昇させ、ダム湖の上流端に位置する長野原町中心部で氾濫の危険性をつくり出します。</u>

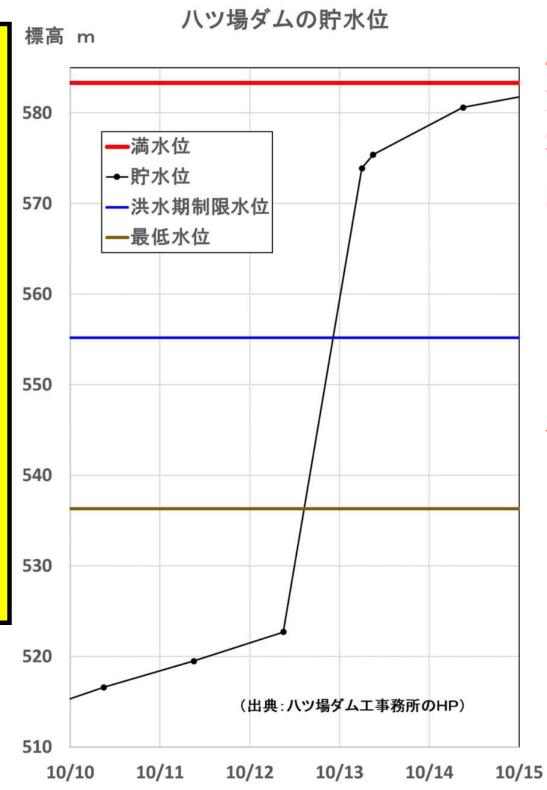
<u>5 ダム湖周辺での地すべり発生の危険性</u>

八ツ場ダム湖の周辺は地質が脆弱な箇所が多いところです。そして、八ツ場ダム湖の周辺に水没地住民の代替地が造成されました。しかし、国は費用削減のため、地すべり対策と代替地安全対策の対象を大幅に減らし、対策の工法を簡易なものに変更しました。

今後、ハツ場ダム湖の周辺は貯水位の上下の繰り返しにより、深刻な地すべり 等の地盤問題が発生する危険性をはらんでいます。 I 利根川の治水対策として、八ツ場ダムは意味があるのか。 むしろ、有害な存在になるのではないか。

<u>1 八ツ場ダ</u> ムの緊急放流 の危険性

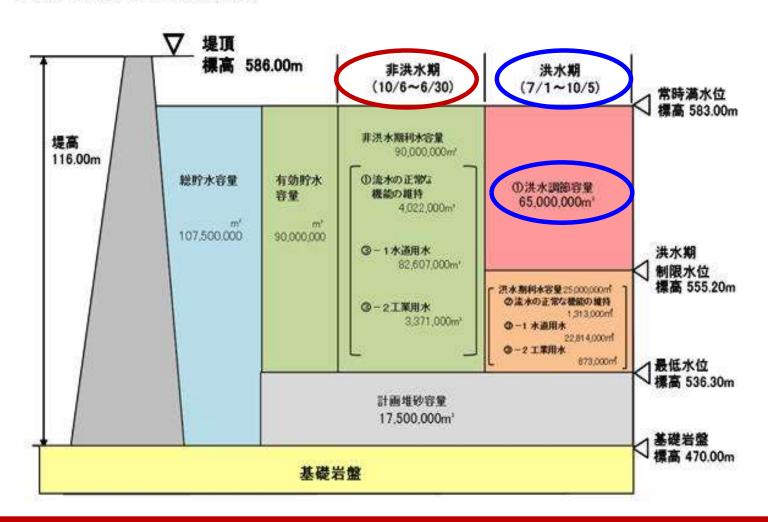
2019年10月の台別のは10月でははははははいいでははいいではでいる。



2019年、試験 湛水中の八ツ 場ダムの貯水 量が 10月12日9時 から13日6時 までに7,500万 mも一挙に増 加しました。

八ツ場ダム 2019年10月1日から試験湛水開始

●貯水池容量配分図



台風19号でハツ場ダムが貯留した7500万㎡は洪水期の洪水 調節容量6500万㎡を1000万㎡も上回っていましたから、本格運 用されていれば、緊急放流になる事態になっていました。

2 ダムの緊急放流の恐さ

ダムは計画を超えた洪水に対しては洪水調節機能を喪失 し、流入洪水をそのまま放流します(緊急放流)。

ダム下流の河道はダムの洪水調節効果を前提とした流下 能力しか確保しない計画になっているので、ダムが洪水調 節機能を失えば、氾濫の危険性が高まります。

しかも、ダムは洪水調節機能を失うと、放流量を急激に増やすため、ダム下流の住民に対して避難する時間をも奪ってしまいます。

<u>地球温暖化に伴って短時間強雨の頻度が増す中、ダムの</u> 緊急放流の危険性が今後、一層拡大していきます。

2015年9月 鬼怒川水害では 4ダムの一つ 川治ダムで 緊急放流の危機

2015年9月10日 午前4時45分、 日光市藤原地区 の約140戸が 一時避難

日光・川治ダム越流の恐れ

確かな情報 共有に課題



0人を一時避難させた。 **三。同本部は地形などを** 総合的にとらえ、 を独自に想定。午前4時 『情報』を発令し、 計350人に 市藤原、大門美幸小網自治を公民館へ避難させた日光

用紙の文面に言葉を失っ 本部を実質的に取り仕切っ時半すぎ。日光市災害対策 …計画規模を超える洪 は、届いたファクス

までの24時間に551%に

1976年の統計開

水時の操作に移行する可能

メムを越流しコントロー 忌放流」しなければ雨水が

本部に判断を迫る。 に警告した書面だった。 できなくなる可能性を事前

「最悪のケースを考えよ

身の判断で地区住民約70人 戦共有の在り方を検討する 支川からも川に流入する。 個体へ連絡するようなシス 市の「避難準備情報」や自 い」。同事務所の中現時点で構築され

に口調で問いただす日光市

緊急放流により、人の命を奪った 愛媛県・肱川の野村ダムと鹿野川ダム





(毎日新聞2018年7月20日)「西日本豪雨 ダム放流、流域疑念 愛媛・肱川氾濫、 切迫感めぐり溝 検証開始」

11

野村ダム下流の西予市(せいよし)



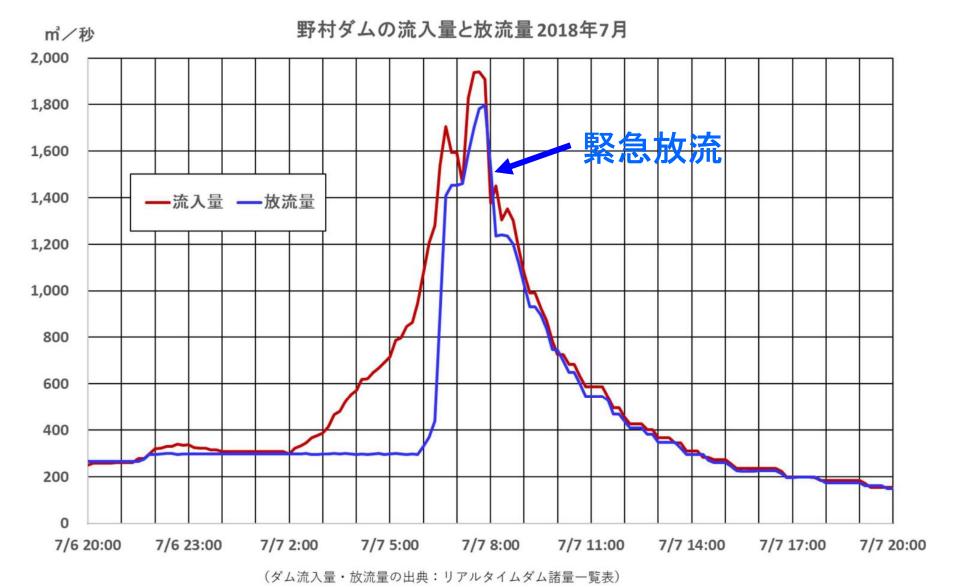
(愛媛新聞 2018年7月8日)

「西予・野村 濁流おびえ数時間 愛媛県内豪雨災害 あっという間 水が」 (写真)宇和川の氾濫で市街地

(写真)宇和川の氾濫で市街地に濁流が流れ込み、建物などを押し流す=7日午前8時50分ごろ、西予市野村町野村



(朝日新聞2018年7月11日) 「(時時刻刻) ダム放流急増、伝わったか 愛媛・西予、2キロ下流で5人犠牲」 1



野村ダムが洪水調節を行えたのは、流入量が増加し始めてから5~6時間だけのことであって、あとは洪水調節機能を全く失いました。野村ダムの最大放流量は約1800㎡/秒になり、下流に放流すべき流量300㎡/秒の6倍にもなりました。

<u>野村ダムの下流では、ダムの放流により、5人が死亡し、約650戸が浸水しました。</u> <u>鹿野川ダムの下流でもダムの放流により、3人が死亡し、約4600戸が浸水しました。</u>

13

3 ダムの効果が小さかった2015年9月の鬼怒川水害

鬼怒川水害 では下流域 で、災害関連 死と認定され た12人を含 む14人が死 亡し、 多くの住宅が 全壊や大規 模半壊など の被害を受 けました。







鬼怒川ではダム優先の 河川事業が行われてき た。

鬼怒川の流域図

鬼怒川の流域面積 1,761 km2

4ダムの集水面積 595 km2

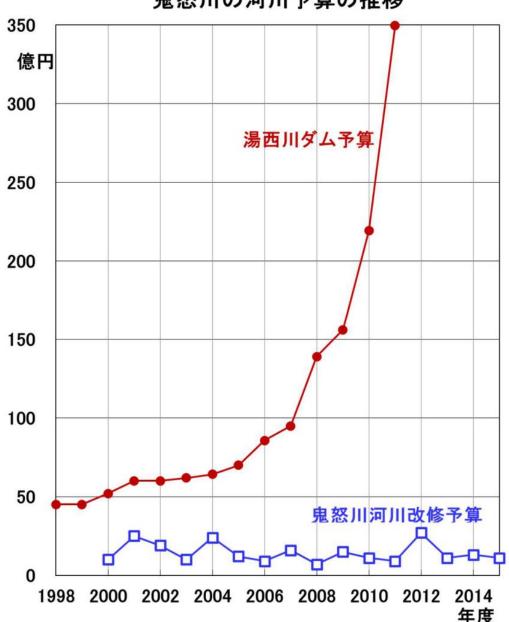
4ダムの集水面積は 鬼怒川全体の流域面積 の1/3もあります。



鬼怒川流域図

鬼怒川ではダム偏重の河川行政が行われ、河川改修がなおざりにされてきた。





[注]国交省の資料から作成

湯西川ダムに巨額の河川予算が投入される一方で、河川改修の予算は毎年度10億円程度に とどめられてきました。

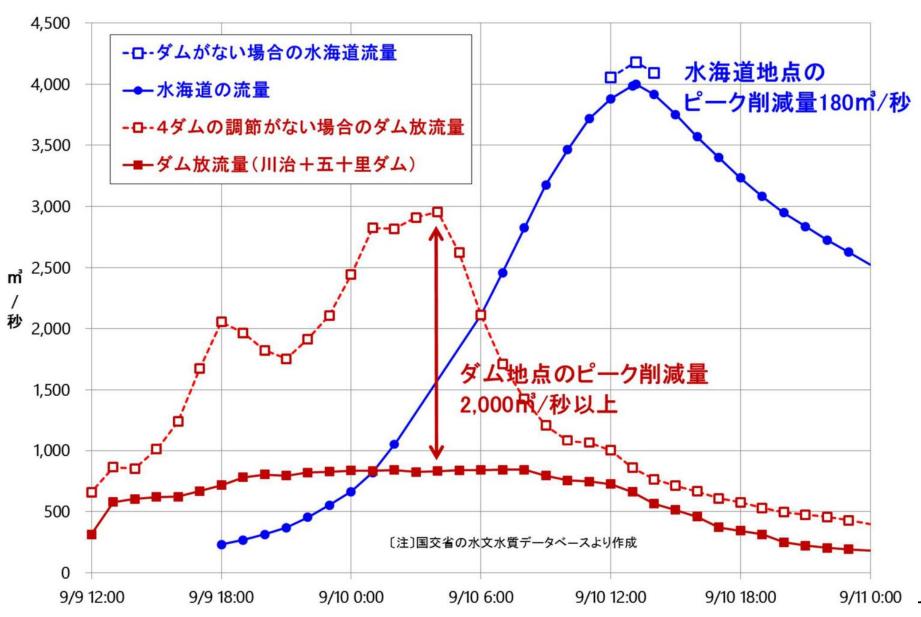
湯西川ダム 2012年度完成 建設事業費 1,840億円 負担額 治水 1,144億円 かんがい 52億円 都市用水 644億円

(出典:国交省の資料)

ダム地点と鬼怒川下流部における4ダムの洪水調節効果

4ダム:湯西川・五十里ダム 川俣・川治ダム

ダム地点(134km)の放流量と下流·水海道地点(11km)の流量



ダムによる洪水ピークの削減量が下流で激減する理由

- ・鬼怒川のダム地点の洪水ピークの削減 2,000㎡/秒以上
- ・下流の水海道地点の洪水ピークの削減 約180㎡/秒 4ダムによる削減効果は下流では1/10以下へ低減

国交省の計算でも、

4ダムの洪水調節の治水効果は下流では効率が極めて小さい。

ダムによる洪水ピークの削減量が下流で激減する理由

- ① ダム地点の洪水ピークと下流部の洪水ピークの時間的なずれ
- ② 下流部までに流れるまでの間に河道貯留効果によって 洪水ピークが減衰

4 治水対策としてのハツ場ダムの問題点

ダムの治水効果は下流へ行くほど、減衰していくので、 ハツ場ダムの治水効果は利根川の中下流部ではかなり減衰す ると考えられ、ハツ場ダムは利根川の治水対策としてほとん ど意味を持ちません。

地球温暖化に伴って短時間強雨の頻度が増す中、ハツ場ダムに近い距離にあるダム下流の吾妻川では、むしろ、ハツ場ダムの緊急放流による氾濫を恐れなければなりません。

Ⅲ 水道等の水需要が一層縮小していく時代において八ツ場ダムは利水面でも無用の存在である。

1 ハッ場ダムの利水予定者と参画量

区分	事業主体名	参画量(m³/秒)		
		通年	非かんがい期	計
	群馬県		2.00	2.00
	藤岡市	0.25	_	0.25
水	埼玉県	0.67	9.25	9.92
	東京都	5.22	0.559	5.779
道	千葉県	0.99	0.47	1.46
用	北千葉広域水道企業団	0.35	_	0.35
水	印旛郡市広域市町村圏事務組合	0.54	_	0.54
	茨城県	1.09		1.09
	小 計	9.11	12.279	21.389
工業用水	群馬県		0.35	0.35
	千葉県	0.47	_	0.47
	小 計	0.47	0.35	0.82
合 計		9.58	12.629	22.209

いずれの利水参画者も水需要の減少でハツ場ダムの水源の必要性が希薄になり、ダム負担金に苦慮していると推測されます。

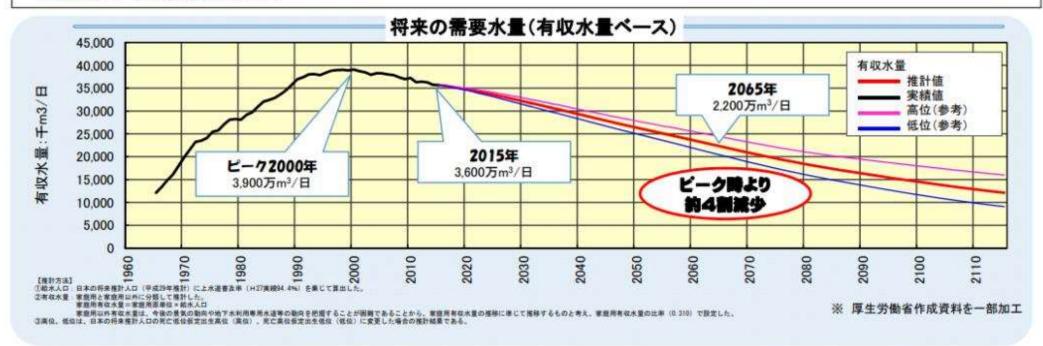
2 水道用水の需要は縮小の一途

全国の水道用水の需要は今後も減少の一途を辿っていく

全国の水道の水需要は2000年代になってからは確実な減少傾向となり、その傾向は今後も続いていきます。(減少要因:人口減、節水機器の普及、漏水の減少等)

水道事業の現状と課題①

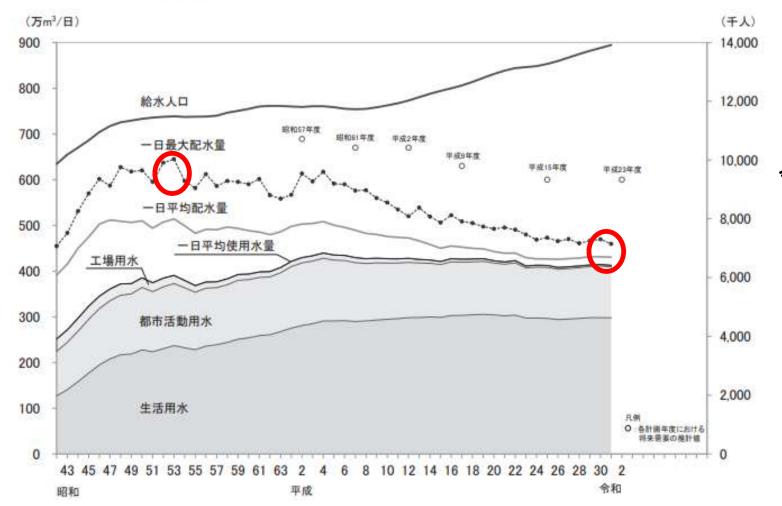
- 急速な人口減少により、2065年には有収水量がピーク時の約4割減となる見込み
- これに伴い、すでに減少局面にある料金収入は、さらに減少圧迫を受け、経営環境が厳しくなるが、給水人口規模の小さい 団体ほど、その影響は大きい。



東京都水道も水需要は確実な減少傾向

一極集中が続いてきた東京都でさえ、水道の需要は確実な減少傾向が1990年代頃から続いており、ハツ場ダムなど、水源開発のための近年のダムは無用のものになってきています。

図2-1 一日最大配水量、一日平均配水量、一日平均使用水量(生活用水、都市活動用水、工場用水)及び 給水人口(区部及び29市町(注1))



(東京都水道局「事業概要 令和3年版」より)

3 群馬県の例 「前橋市等の自己水源(地下水)の削減と水道料金の値上げ」

ハッ場ダムの"負の遺産" =県央第2水道

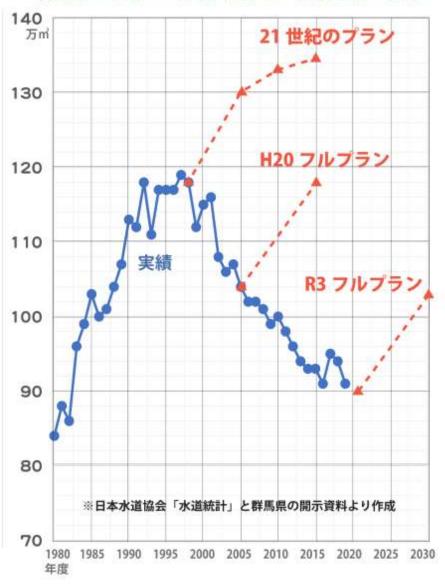
群馬県議会議員 伊藤祐司

2021年度決算総括質問で、県央第2水道の過剰な供給について質問しました。県央第2水道は、群馬県の水需要が右肩上がりに増え続けるという過剰な水需要予測にもとづいてつくられた計画で、その暫定水利権は八ッ場ダム計画にもし、前橋や玉村、伊勢崎などの自治体をダム計画に参画させ、負担を強要する役割を果たしました。

そして、その県央第2水道は今も、市町村を、 ひいては市民を困らせる"負の遺産"となって います。

自治研会報 No.216 前橋水道問題 2022年11月16日

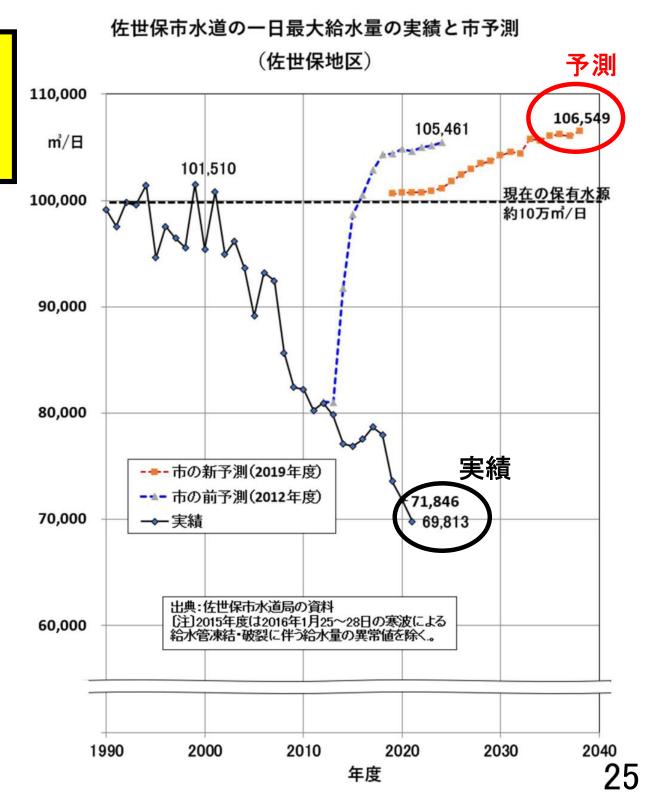
群馬県上水道の一日最大取水量の実績と県の予測



4 石木ダム建設の主 目的「佐世保市水道の 水源確保」の虚構

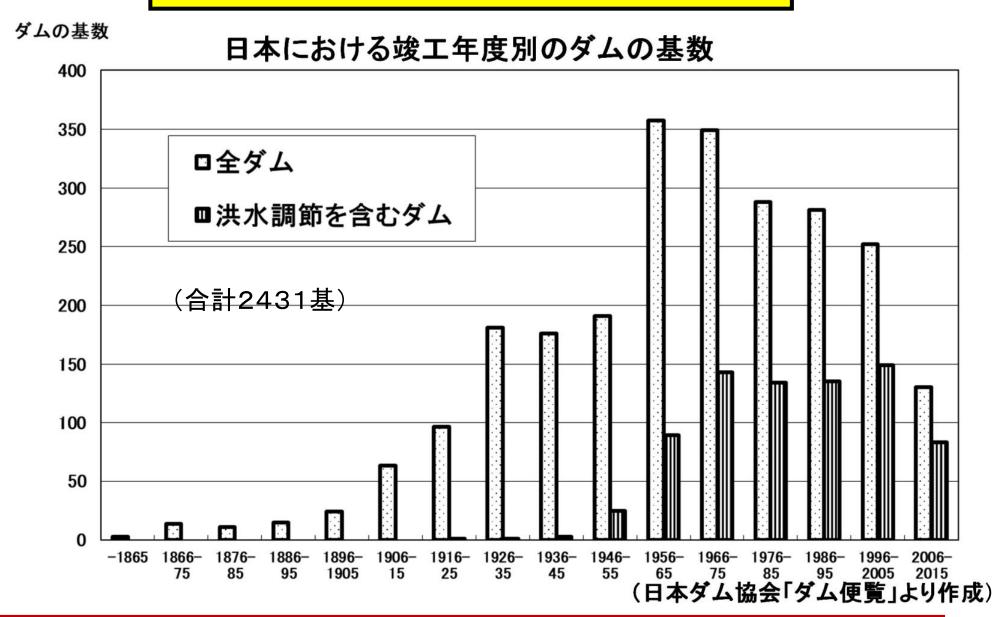
長崎県では不要な石木ダムをつくるため、いまだに全く架空の水需要予測がまかり通っています。

ダムの水没予定地 (川棚町)では13軒 の住民と支援者がダ ム絶対阻止の闘いを 続けています。



IV ダム問題の経過

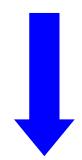
1 ダムの建設基数の経過



日本では2400基を超える数多くのダムが建設され、 多くの問題をもたらしてきました。

2 ダム事業見直しの経過

- ●ダム反対運動の広がり
- ●財政危機
- ●水需要の減少傾向
- ●ダム計画への疑問



一部のダム事業が中止

計画途

建設省

読売新聞

1996.12.18

地元の反対で建設が難航し ことにしたもの。 見直しを求める声が強まっ は初めて。公共事業の在り ることを決めた。ダム開発 画を、今年度限りで中止す に入っている四つのダム計 福島や茨城などで調査段階 響を与えそうだ。 ている他のダム開発にも影 の大きな転換点ともいえ、 は無駄になるが、河川行政 た五十五億四千万円の税金 によって、すでに投入され 低下した事業を取りやめる が事業途中で中止されるの ていることから、必要性が 万に対する批判や補助金の 建設省は十七日までに、 中止決定

中止となるのは、同省直一でも「公共事業はいったん

対象に、 と「伊久留川ダム」(石川業の「水原ダム」(福島市) 会」を設置。県や市町村の する「ダム等事業審議委員 か所のダムや堰開発事業を などで建設が進まない十二 事業費の計上を見送った。 れも、来年度の予算要求で 県鳥屋町) の四ダム。いず 池総合開発事業」、補助事 市にまたがる「稲戸井調節業」と茨城県守谷町と取手 の「日橋川上流総合開発事轄事業の福島県会津若松市 の見直しを進めてきた。 意見を取り入れながら事業 それと同時に、同省自身 同省は昨年、 建設の是非を協議 地元の反対

が原ダム・ 日機川 上流 ダ伊 ム会 関節地・

動きだしたら中止しないものと思われ、国民の目も厳しさを増している」(河川局)として、同省直轄や補局)として、同省直轄や補助で事業が行われているニーカーーが事業が行われている②ダムを建設しなくても代替策がある――と判断したこの四事業につなくても代替策がある――と判断したこの四事業につなくても代替策がある――と判断したこの四事業について、地元自治体の了承をいて、地元自治体の了承をいて、地元自治体の了承をいて、地元自治体の了承をいて、地元自治体の了承をいて、地元自治体の了承を

1996年から ダム事業が 徐々に中止

中康夫•長野県 知事の脱ダム宣言

中止になったダム 信濃川水系 清川治水ダム、 角間ダム、黒沢ダム、 大仏ダム 天竜川水系 下諏訪ダム、 駒沢ダム、蓼科ダム、 郷土沢ダム

検証中のダム 信濃川水系 角間ダム

次の知事が推進したダム 信濃川水系 浅川ダム 2001年2月

間で自然の保水力を進める 力針で、代わりに、森和縣 タムの建設を原則中止する 小葉のうち、本体工事に確 を計画している十一のダム 三 を発表した。 県が建設 亡ていない八カ所程度の 何を地球環境へと与えてし

はい」とする「脱る食

田や知事は宣言文の中 「ダムは智通しえぬ負

見が養否分かれており、一

トのダムを迎るべきで

「長野県においてはコンク 一十日、配者会見を開き、

などを組み合わせ、「多角

長野知事

の所援新た

十日、配者会見を聞き、「や琉域住民との間で議論と「厶(下諏訪町)や治水ダム「り扱いをめぐり、二十日ま長野県の田中康夫知耶は「の髑髏はなく、今後、議会」は、多目的ダムの下蔵訪ダ「視繁。本年度分の予算の攻 でに小業継続か否かの判断

利水·治水面

話し、未養工ダムの原則に たって計画してことだ」と

中止の方針について、「何 田中康夫長野県知事のダム

ろことにしている。 くって建設の是非を話し合 し、今後、検討委員会をつ いついては一時工事を下断 らに我川ダム (長野市) (生)の建設を中止した。 大っている大仏ダム(**松**

属千景国土交通相は二十 検討したのから 国土交通相、疑問示す 事業を見直し、ダムを中止ただ、「昨年暮れに公共 路上に動き楽した。 したのもかなりある。現に

すでに本体工事 るという。述本姿勢のうえに

く、国民の財産、生命を守 たいからしているのではょ たちは、ただ公共に築をし のかどろか。少なくとも私 の面から木当に検討された のではなくて、利水、治水

た。これまでダム建設を重 水策を模案する考えを示し 縁のダム」など所たな物

今後は、通常の利川改修や 陛中上の理由を説明した。 **介慮も生じる」などと建** しゅんせつ、自然の保水力

要な選択肢にしてきた国内 の治水事業のあり方に一石 を数十億円を用いて処理す

ならず、おびただしい地砂を含っいずれ迎り替えねば

部のダム計画の

利根川水系片品川の戸倉ダム (総貯水容量 9200万㎡) の中止

> SHINBUN JOMO THE

2003年(平成15年) 12月17日

水資源機構

予定の本県と三都県(東
関東地方整備局が利水

れない」と反発の声が相

渋川市は水源確保の必一退した場合、負担増など

権者などで組織するダム開かれた村や村議会、地 表」直前の十六月午前に を強 事や周辺整備の完全実施 望したものではない」と は「戸倉ダムは村民が要 対策委員会でも「一方的 し、建設中の国道拡幅工 一中止発

なVなった。 認したところ、いずれも める。中止になれば、本 中で、中止か継続かを決 体の治水対策を検討する も視野に入れ、利根川全 として建設を続けること 構の事業として成り立た 発を目的とする水資源機 を得ないと回答。利水開 事業撤退や、中止もやむ 者に事業参画の意向を確 京、埼玉、干薬)の関係 今後、同局が治水ダム



は初めてとなる。 国や同機構直轄のダムで 格的な建設段階に入った

片品村の星野賢二村長

東、薮塚本、 時前から小 冬型の気圧 新里、 最高気温は 平年並み。平 も五代前後 写真。今冬 辺は約二〇世 け方から雪が 元住民らが 前橋地方 権名山では 県内は土 一度量

前橋で初雪 $\Delta\Delta\Delta$

る同広域圏七山 で、首長や機氏 桐生広域圏の 37

桐生広域圏 7 市町村

||警治水での必要性検討 を求めていく。利水参画している渋川市はダム建設負担金の軽減を国に要望する考え。 どと対策連絡協議会を設置。片品村は「撤退は一方的」などとして周辺整備事業の完全実施 めで、二十四日の事業評価監視委員会を経て正式決定する見通し。県は十八日にも片品村な 利水を伴う同機構のダム事業を中止する手続きに入ると発表した。利水者が撤退を決めたた 水資源機構が片品村に建設中の戸倉ダムで、国土交通省関東地方整備局と同機構は十六日、 |な撤退方針は絶対認めら||次いだ。 要片品 求村 県 たが、利水量の92%を占 要から事業継続方針だっ める東京都と埼玉県が撤 利権調 定的な水利根を

明がつかない」 る。県は自ら保 していかないよ 負担軽減企

断。木春治・山から事業継続な 意向でやめるれ 金について「

31

淀川水系流域委員会の提言(2005年1月)

淀川水系の五つの新規ダム 計画を原則として中止する。

大戸川(だいどがわ)ダム (宇治川の支流、滋賀県) 丹生(にう)ダム (琵琶湖の支流、滋賀県) 川上ダム (木津川の支流、三重県) 天ヶ瀬ダム再開発 (宇治川、京都府) 余野川ダム (猪名川、大阪府)



その後、中止になったのは余野川ダムと丹生ダムです。

川上ダムと天ケ瀬ダムはダム中止の運動が展開されましたが、事業は進められ、終盤に近い状況にあります。

大戸川ダムは凍結されていましたが、嘉田由紀子氏の後継として滋賀県知事となった三日月大造氏が2019年4月、大戸川ダムの建設を容認する方針を32発表しました。

1990年代後半からのダム事業の中止

中止になったダム事業

(国交省関係の直轄ダム、水機構ダム、補助ダム) (2005年度まで)

中止年	直轄・水機構 ダム	補助ダム	計
1996 年度	2	2	4
1997 年度	0	6	6
1998 年度	0	7	7
1999 年度	0	0	0
2000 年度	12	35	47
2001 年度	0	8	8
2002 年度	6	8	14
2003 年度	4	6	10
2004 年度	1	2	3
2005 年度	0	6	6
計	25	80	105

1990年代後半からダム事 業が徐々に中止され、 2005年度までに国交省関 係で105ダムが中止。 (細川内ダム、清津川ダム、 紀伊丹生川ダムなどの大 型ダムも中止)

2005年度までに 105ダムが中止

3 2009年9月からのダム見直しの結果



一今後の治水のあり方に 関する有識者会議」の設置

(ダム検証の手順と基準を定め、各 ダムの検証結果を審議する会議)

- 有識者会議の委員 $(\mathbf{1})$
- ●ダムに懐疑的な専門家は 排除。
- 会議の運営
- ●会議は非公開



ダム推進の隠れ蓑として機能

2009年11月21日

に初会合を開き、来年夏ご などを発表した。 ンバーと検証スケジュール を検討する有識者会議のメ **準となる考え方、手法など** ダムを含む143ダム事業 の妥当性を検証する際の基 日の記者会見で、 前原誠司国土交通相は20 ハツ場 事業の検証に入る見通し。

予算編成の段階で継続する が来夏以降になる可能性が ダムの再検証結果の公表 が早期開示を求めている同 このため、地元や関係都県 まず、国交省が今年末の 時凍結する事業

> 事業の妥当性を評価す これに基づき一時凍結する

ムに頼らない治水」の理念 「できるだけが どについて基準を策定し、 法、ダム事業の評価手法な 夏ごろの中間取りまとめで 幅広い治水対策案の立案手

有識者会議発足

考えを示した。

に都道府県知事に要請する

5県の知事が13日、長年苦 支出してきた本県など1都 ては同ダム事業に負担金を 者9人で構成する。 林科学、公共政策などの学 **Ľ長とし、災害心理学や赤** 配大名誉教授 (水工学)を 同ダムの再検証をめぐっ 有識者会議は中川博次京 の基準に沿って見直すよう 男が一方的に凍結できない **州県が実施するダム事業**は 国から補助を受けて都道 前原氏は有識者会

と地元住民の理解を得るこ

算案の決定までに関係都県 慮などから「来年度政府予

研究センター長・教授▽辻 学院情報学環総合防災情報 鳥取大名誉教授▽森田朗 **本哲郎・名古屋大大学院**丁 科教授▽田中淳・東京大大 名誉教授▽鈴木雅一・東京 り▽字野尚雄・岐阜大名誉 大大学院農学生命科学研究 教授▽三本木健治・明海大 と」と早急な対応を求める 座長以外の委員は次の通 し入れを行っている。

国交相

年夏ごろに最終提賞を行

ダム見直しの失敗(1)

検証対象のダム数を縮小

- ●本体工事の契約をしていれば、検証の対象から除外。 当別ダム(北海道)、湯西川ダム(栃木県)など
- ●駆け込みで本体工事の契約を結んだ補助ダムも検証の対象から除外。 新内海ダム(香川県)、浅川ダム(長野県)、路木ダム(熊本県)など
- ●ダムの大規模改造事業を除外

2010年度のダム事業 (国交省関係)

	検証対象	対象外	計
直轄・水機構ダム	31	24	55
補助ダム	53	36	89
計	84	60	144

ダム見直しの失敗(2)

検証のシステムの問題

- (1) ダムの事業者みずからが検証作業を担い、第三者による検証ではない。
- (2) ダム推進を強く主張する「関係地方公共団体からなる検討の場」の意見を聴きながら、検証作業を進める。
- (3) ダム事業の見直しを求める市民や有識者は検証作業から排除。

ダム見直しの失敗(3)

検証内容の問題

(1) ダム事業の前提となっている計画や予測の見直しを一切しないで、ダム案と代替案との費用比較(ダム案は残事業費)を行うだけ。

(2)ダム案が圧倒的に有利になる枠組みでの比較であるから、自動的にダム案が選択されるようになっている。



ダム見直しの失敗(4)

八ッ場ダム案を法外に高い利水対策案と比較

〔利水対策案の完成までに要する費用〕

① ハッ場ダム案 残事業費(利水分)

約600億円

【全事業費(利水分)】

【約2,100億円】

② 富士川からの導水、地下水取水、藤原ダム再開発

約1兆3000億円

- ③ 利根大堰・下久保ダムのかさ上げ、既設ダムの発電・治水 容量の買い上げ、既設ダムのダム使用権の振替 約1800億円
- ④ 利根大堰のかさ上げ、既設ダムの発電・治水容量の買い上げ、渡良瀬第二貯水池、既設ダムのダム使用権の振替 約1700億円
- ⑤ 富士川からの導水、既設ダムの発電・利水容量の買い上 げ、 既設ダムのダム使用権の振替 約1兆円

上毛新聞 2011年12月23日

会談を終え、拍手で送り出される前田国交相 山村開発センター

空白の2年 生かす努力を 響

〇の年の月17日、当 政権交代直後の20

(限) 対「権連派」の構図が一瞬に を、民主党に限っず、政治や行政 関係都勇、町はまず、こうした針 にしても、この2年3上な通信に地元は反発。「ダム中止 わなければならなくなった不全期 川原畑地区は市民農園を構想。図 図の河川行政をみんな上を唐突に切り出した。八ツ場ダ が必要だ。故郷をダムに沈めたく 道の駅が計画され、住民が完成を で、洪水の危険性や治止を唐突に切り出した。八ツ場ダ が必要だ。故郷をダムに沈めたく 道の駅が計画され、住民が完成を で、洪水の危険性や治療の前原製可国土交通相はダム中 もに、緻密さと時に丁家な手続き れない。5地区のうち林地区では 対両派が主張をぶつけ込時の前原製可国土交通相はダム中 もに、緻密さと時に丁家な手続き れない。5地区のうち林地区では 対両派が主張をぶつける 解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を開設、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意し、の完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を解説、前田武志国土交通相は八、ム湖に代わる地域振興策を用意しの完成予定が15年度に変更され、軌道に乗せるべきた。を 前田国交相

づけた国交省の検証で治水効果が確認された点などを重視した。前田氏は同日夜、長野原町を紡を建設すると表明した。来年度政府予算繁に本体工事費を計上する。「建設継続が妥当」と結論 主党政権が2009年の保院選マニフェスト(政権公約)に基づき着工を凍結していたダム本体建設の是非が議論されてきた八ツ場ダム問題で、前田武志国土交通相は22日、記者会員じ、民

官が前原氏と会談

原誠可政調会長

定する見通し。 開かれ、建設再開を最終決民主三役会議が23日午後に 首相もメンバーの政府・

> 国会に提出した 活再建支援法案を を中止した場合 水流量を再検証 検証の前提条件

設を要望している点も「自 る。代替案なきままに中断として働く感触を得てい 果が得られなかったのは残については「公約通りの結 の事業を進めろという判断 はできない」と説明した。 信の原則に思っても、こ ードの施設として安全装置け、ハツ場ダムについて「ハ 担」と強調。その上でダ 会議が、関東地方整備局の顧を定めた国交省の有職者 **護した点を判断の「大前** が系の治水の重要性を挙 流に人口が集積する利根 本県など6都県知事が建 前田氏は会見で、 り予算に入れるな

ダム建設に傾く政府側に

念が、黄後の決断をした」

ハッ場ダム事業推進の真の目的は約6500億円という 超巨額の公費を投入することにあった。

ハッ場ダム建設事業及び関連事業の事業費

(起債の利息負担額を除く)

①ハッ場ダム建設事業

②水源地域対策特別措置法の事業

③水源地域対策基金事業

三事業の合計事業費

5,320億円(2016年12月改定)

997億円

178億円

6.495億円

【参考】川辺川ダム(熊本県)(2022年の計画で復活)

川辺川ダムの残事業費は約2,700億円で、すでに約2,200億円の事業 費が使われていますので、現段階の川辺川ダムの建設事業費は約 4,900億円にもなる見通しです。

完成予定が2035年度ですから、今後も増額され、川辺川ダムの建設 事業費はハツ場ダムを上回ると推測されます。

川辺川ダムは2009年に中止になったはずでしたが、2020年7月の球磨川大水害への対応を理由に流水型として復活しました。しかし、実際には川辺川ダムは同洪水の再来に対応できないものです。

総貯水容量 八ツ場ダム 10,750万㎡ 川辺川ダム 約13,000万㎡

5 ダムの検証状況 (2018年10月1日現在)

	検証対象	検証終了ダム		検証中の
	ダム	推進	中止	ダム
直轄ダム・ 水資源機構ダム	31	24	6	1
道府県ダム (補助ダム)	53	31	19	3
計	84	55	25	4

中止ダムのほとんどはダム事業者の意向によって中止になったのであって、適切な検証が行われた結果によるものではありませんでした。

例外:兵庫県の武庫川ダム、熊本県の五木ダム、滋賀県の北川ダムと丹生ダム 武庫川ダムと五木ダムは流域の運動の高まり、北川ダムは嘉田由紀子・前知事のリーダー シップによって中止になりました。丹生ダムは淀川水系流域委員会の意見書が中止の大き な要因になりました。

検証が終了した注目ダムはほとんどが継続へ

継続となったダム

直轄ダム:八ッ場ダム、足羽川ダム、サンルダム、立野ダム、 平取ダム、成瀬ダム、山鳥坂ダム、設楽ダム、川上ダム、 霞ヶ浦導水事業、利賀ダム、城原川ダム、大戸川ダム、 思川開発事業(南摩ダム)、・・・・

補助ダム:五ケ山ダム、最上小国川ダム、簗川ダム、厚幌ダム、 安威川ダム、内ケ谷ダム、石木ダム、平瀬ダム、・・

ダム検証が

ダム事業の推進にお墨付きを与える道具に

全国のダム予算の基数

	2009年度	2019年度
直轄ダム	51	30
水資源機構ダム	7	6
補助ダム	93	34
計	151	70

6 中止になったダムの建設再開を求める動き

戸草ダム建設再開へ要望 長野県に三峰川開発期成同盟会

(中日新聞2023年2月1日)

上伊那・飯田下伊那地域の天竜川流域の市町村でつくる「三峰川(みぶがわ)総合開発事業促進期成同盟会」は三十一日、国が計画したものの県が利水事業の構想を撤回したことなどから二〇一二年に建設中止が決まった多目的ダム「戸草ダム」(伊那市)について、建設再開を視野に入れた河川整備計画づくりを国に求めることなどを県に要望した。

<u>梅澤志洋片品村長インタビュー 戸倉ダム建設計画再開へ</u>

(群馬建設新聞2021年11月18日)

一戸倉ダム建設計画の再開に向けて

梅澤 戸倉ダムは八ッ場ダムの90%程度の貯水量が見込まれている。また、計画当時の総工費として1230億円が掲げられており、すでに関係工事などで24%に当たる約29億円を投資している。加えて、ダム予定地の大部分を現在の水資源機構が所有しているため、新たな土地買収が少ないなど計画再開に向けたメリットも多い。そして、議会、役場、戸倉の地元住民から反対する意見は全く聞こえない。

計画再開に向け慎重な意見も出ているが、片品方面の利水・治水を見ると利根川合流までの間、薗原ダム以外に大きなダムがない。いろいろな災害が想定される昨今において、下流域となる首都圏の安全を確保するため、戸倉ダムが必要だといっても過言ではない。

V 国交省の「流域治水の推進」(2021年度から) のまやかし

1 国交省の「流域治水の推進」のまやかし



流域治水には 治水対策として ありうるものが ほとんど盛り込 まれています。

球磨川がその 典型例です。

2 球磨川流域治水プロジェクト (2022年3月31日更新)

区分	対策内容	実施主体
	河道福利(中点部[第] 河道福利(人吉地区 [報] 河道福利(協稿部 人吉地区 [報] 利度[第] 総中級-宅地かさ上げ[第] 遊水地整備[第] 河道掘削、堤防補強対策(下流部) 高瀬)新設対策(下流部) 利水ダム等6ダムにおける事例改造等の実施(急治体、企業)[領]	国土交通省
	河道提制等(聚) 激清川放水路(聚] 提防整備。事前放汽支援に対する河川改修、造水地(支川)等(紧)	数本级 等
氾濫をできるだけ防ぐ・減らす ための対策	高水空ダム・市務ダム高間側[禁]	国土交通省・原本県
	砂防網係施設の整備	国、烈本県 等
	下水道等の排水施設の整備	縣本縣、市町村 等
	而水貯留·而水浸透施設整備	国、熊本県、 市町村 等
※【繁】 河川における対策のうち、緊	水田の貯蓄機能向上 ため泡の模強、有効活用 農業水利能限の整備 等	能本限、亦町村 等
急治水対策プロジェクトとし て位置づけている対策	森林の登備・保全、治山施設の整備	国、熊本県、 市町村等

2009年に中止になったはずの川辺川ダムが流水型として復活し、市房ダム再開発、遊水池整備も含まれています。

48

球磨川流域治水プロジェクトの内容と総事業費

本プロジェクトには治水対策として考えられるものがほとんど全部盛り込まれ、流水型ダム(川辺川ダム)の整備、市房ダム再開発、遊水池整備もしっかり入っています。 その対策費用

- ① 河川対策 約1636億円 (球磨川流域治水プロジェクト【ロードマップ】(2022年3月31日))
- ② 流水型川辺川ダムの残事業費 約2700億円
- ①と②に合わせると、

<u>約4336億円という凄まじい超巨額の公費が球磨川に投じられていくことになります。</u> (市房ダム再開発の事業費は含まれていません。)

また、<u>川辺川ダムはすでに約2200億円の事業費が使われていますので、現段階の川辺</u> <u>川ダムの総事業費は約4900億円にもなる見通しです</u>。

<u>このように、球磨川では2020年7月大水害への対応が必要ということで、球磨川流域治水</u>プロジェクトの名のもとに、凄まじい規模の公費が投じられようとしています。

<u>それによって、流域の人々の安全が確保されるかというと、実際はそうではなく、2020年7</u> 月大水害の再来に対応できないものであり、一方で、このプロジェクトは球磨川の自然に大きな影響を与え、住民に移転を迫る遊水地の建設を推進するものにもなっています。 49

3 流水型川辺川ダムへの疑問(1) 2020年7月球磨川豪雨の再来に対応できない川辺川ダム

川辺川ダムがあっても、2020年7月球磨川水害の死者を救うことができませんでした。球磨川流域の死者50人の9割は球磨村と人吉市の住民で、支流の氾濫によるものでしたから、川辺川ダムがあっても命を守ることができませんでした。

2020年7月上旬の熊本豪雨で、球磨川が大氾濫し、凄まじい被害をもたらしました。球磨川流域とその周辺の被害は死者65人、行方不明2人、住宅被害は全壊、半壊、床上浸水、床下浸水、一部損壊を合計すると、9014棟にもなりました。球磨川流域の死者50人の9割は右表の通り、球磨村と人吉市の住民でした。

球磨村と人吉市の犠牲のほとんどは、球磨川の支川(小川、山田川等)の氾濫が球磨川本川の氾濫よりかなり早く進行したことによるものでしたから、当時、川辺川ダムがあって本川の水位上昇を仮に小さくできたとしても犠牲者の命を救うことはできませんでした。

2020年7月洪水は小川や人吉付近の支川流域の時間雨量が 非常に大きく、川辺川ダムが必要という治水計画は基本的 な誤りがあります。

2022年8月策定の球磨川水系河川整備計画では小川は河川 改修の対象外であり、山田川は0~0.5kmについての改修が 簡単に記されているだけです。川辺川ダムで本川の水位を 下げれば、支川の水位も下がるという考えによるものです が、その考えは2020年7月水害の実態とかけ離れています。

市町村別犠牲者数

	全体	うち 球磨川流域
球磨村	25	25
人吉市	20	20
芦北町	11	1
八代市	4	4
津奈木町	3	0
山鹿市	2	0
合計	65	50

[※]犠牲者数については、熊本県災害対策本部会議資料(熊本県警察本部 提供資料)を基に記載。

第1回令和2年7月球磨川豪雨検証委員会説明資料(8月25日)九州地方整備局、熊本県

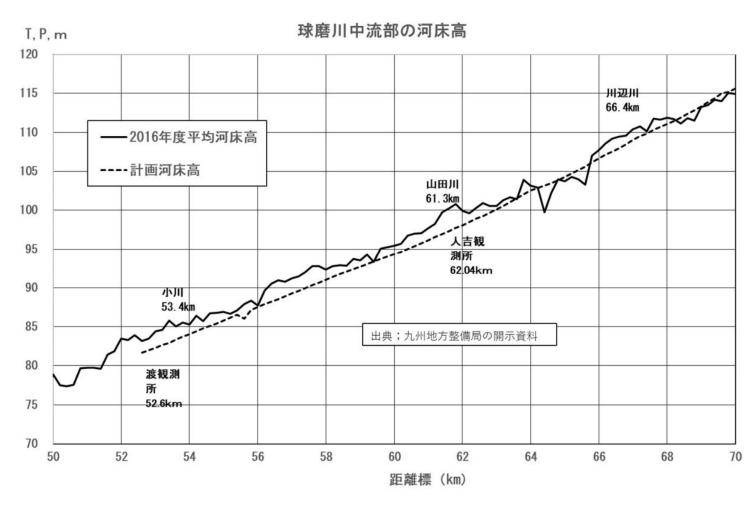
50

[※]球磨川流域の犠牲者数については、熊本県災害対策本部資料(熊本県 警察本部提供資料)の「住所」と「死因」等から推測

流水型川辺川ダムへの疑問(1) 2020年7月球磨川豪雨の再来に対応できない川辺川ダム

<u>2020年7月豪雨による球磨川大氾濫の最大の要因は球磨川本川と支川の河床</u> 掘削があまり実施されてこなかったことにあります。

国交省は川辺川 ダム事業の必要性 が損なわれないよ うに、すなわち、 川辺川ダム事業の 推進のために、球 磨川の高い河床高 の状態を放置して きました。そのこ とが主たる要因に なって、2020年7 月洪水で球磨川が 大氾濫し、凄まじ い災厄がもたらさ れました。



4 流水型川辺川ダムへの疑問(2)自然に優しくない流水型川辺川ダム

O 既設の流水型ダムで明らかになってきた川の自然への多大な影響

「自然にやさしい」を名目にして、川辺川ダムは流水型ダム(穴あきダム)で計画されています。現時点で既設の流水型ダムは下記の5基ですが、それらの実態を見ると、「自然にやさしい」という話はダム推進のためのうたい文句にすぎず、川の自然に多大な影響を与える存在になっています。

日本の既設の流水型ダム

ダム名	起業者	河川	洪水調節容量 万㎡	完成時期
益田川ダム	島根県	益田川水系益田川	650	2005年度
辰巳ダム	石川県	犀川水系犀川	580	2012年度
西之谷ダム	鹿児島県	新川水系新川	72	2012年度
浅川ダム	長野県	信濃川水系浅川	106	2016年度
最上小国川ダム	山形県	最上川水系最上小国川	210	2019年度

最上小国川の清流を守る会 「最上小国川ダムによっ て濁りが増え、河川環境 に変化が!」

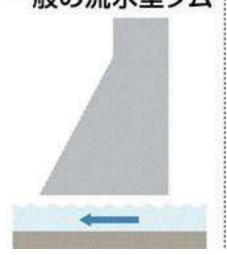


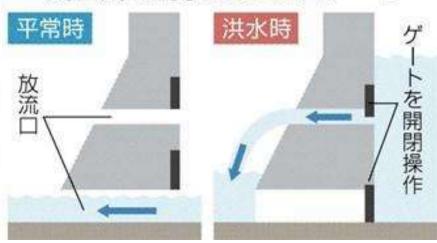
写真1 2019年台風19号通過直接の最上小国川ダム(2019年10月13日、左下は水が引いた後期25日接影

流水型川辺川ダムへの疑問(2) 自然に優しくない流水型川辺川ダム

一般の流水型ダム

川辺川の流水型ダムのイメージ





(熊本日日新聞 2022年2月12日)



日本で初めての本格的な 流水型ダム 「益田川ダム(島根県)」 (2006年3月完成)

川辺川ダムは益田川ダムの20倍近い規模で計画

減勢工

(出典:島根県のホームページ)

流水型川辺川ダムへの疑問(2) 自然に優しくない流水型川辺川ダム

- ① 生物にとっての連続性の遮断
- ② ダム貯水域は流入土砂、土石が堆積した荒れ放題の野原へ
- ③ ダム下流河川の河床の泥質化、瀬や淵の構造の衰退
- ④ 河川水の濁りが長期化
- ⑤ けた違いに大きい流水型川辺川ダム

既設の流水型ダムで最大は益田川ダム(島根県 貯水容量675万㎡2005年度完成)です。それと比べると、川辺川ダムはけた違いに大きく、貯水容量が約13,000万㎡もあり、益田川ダムの20倍近くあります。

川辺川は日本一の清流で、自然環境への影響が厳しく見られているので、国交省は自然環境への影響が小さいとされている流水型ダムにしたものの、虚構の話にすぎません。 54

5 国の流域治水関連法と流域治水プロジェクト

国交省は2021年5月に「流域治水関連法」をつくり、全国の河川で「流域治水プロジェクト」を進めつつあります。このプロジェクトは施策がとにかく盛沢山で、ダム建設、遊水池整備、霞堤の保全、堤防整備、雨水貯留施設の整備など、治水に関して考えられるものは何でも入っているというもので、実際にどこまで実現性があり、有効に機能するものであるかは分かりません。それは、基本的には従前の河川・ダム事業を「流域治水プロジェクト」の名のもとに続け、河川予算を獲得していくものであって、そこには「脱ダム」の精神が見られません。

その典型例が「球磨川流域治水プロジェクト」です。このプロジェクトは流水型川辺川ダムの建設等に球磨川に超巨額の公費を投入することを目的にしています。そのプロジェクトで流域の人々の安全が確保されるかというと、実際はそうではなく、更に球磨川の自然も大きな影響を受けるものになっています。